

赤い彗星登場！

ご覧ください！^{はね}翅以外、複眼を含め全身真っ赤な、「ショウジョウトンボ」のオス。大きさは、5cmぐらい。強い縄張り意識があり、池の周囲の決まったルートを実行しながら飛び回っています。時々、右上写真のようにお気に入りの場所で翅を休めますが、縄張り内に他のトンボが進入するとすぐさま攻撃を仕掛けます。その様子は「赤い彗星」そのものです。

名前の由来は、中国の伝説上の妖怪【ショウジョウ(猩猩)】からきています。ショウジョウは、人間の言葉を理解し大酒飲みで赤ら顔、全身赤色の毛で覆われています。

メスはオスとは大違いで、水辺から離れた木々の中で静かにジッと過ごしているそうです。メスの色は、くすんだ黄色に茶色が混じりとても地味です。(下写真の後ろがメス)

ところで、皆さんに親しまれている「赤とんぼ」はアカネ属の総称で、「アカトンボ」という名前のトンボは存在しません！そして、全身真っ赤な「ショウジョウトンボ」のオスは、アカネ属ではないので、「赤とんぼ」ではありません。一つ勉強になったでしょ！



森の日記

月例 バードウォッチング 6月25日(日)

この日は、朝から小雨がぱらつくあいにくの天気。重くたれ込めた曇り空のもと、地元や名古屋市などから今年最多となる32人が参加しました。出発してすぐにどなたかが、「カワセミがいる！」との声。「どこ？どこにいるの？」とざわめき合っていると、日本野鳥の会の方が「対岸、松の左下の枝！」との説明。皆さん、一斉に双眼鏡や望遠レンズ付きカメラをのぞき込んで「背中のブルー、ステキ！」「お腹のオレンジ色がきれい！」と歓声を上げていました。

この日は最短コースでしたが、カイツブリ親子、コゲラ、ホオジロ、キセキレイ、オオルリなど、全部で22種類の野鳥の姿や鳴き声を楽しみました。



教室のご案内

8月

川の生き物教室 (要申込・定員20人)

8月6日(日) 午前9時～11時30分

川の生き物の観察と飼育方法を学びます。

バードウォッチング (自由参加、雨天中止)

8月27日(日) 午前9時～11時30分

夏の野鳥を観察します。

9月

草木染め教室 (要申込・定員20人)

9月17日(日) 午前9時～11時30分

草や木を煮出して白い布を染めます。

バードウォッチング (自由参加、雨天中止)

9月24日(日) 午前9時～11時30分

初秋の野鳥を観察します。

恒例の陶史の森まつりは9月9日(土)に開催します。

午前10時～午後2時 (自由参加)

シャトルバス(陶史の森⇄セラテクノ土岐)を利用ください。

